



2009年12月の設立から10周年を迎えた岡山EU協会は1月27日、岡山市北区のホテルグランヴィア岡山で記念講演会と懇親会を開きました。記念講演会では、アイルランド出身で詩人、翻訳家のピーター・マクミラン氏が「日本文化の素晴らしさについて」と題して講演し、会員ら約70人が聴講。その後の懇親会には、大森雅夫岡山市長も出席され、交流を深めました。

10周年記念講演会

講演要旨 「日本文化の素晴らしさについて」

詩人・翻訳家 ピーター・マクミラン氏

2020年度理事会

活動報告

- 第25回 EU 講座「日本文化 もっとアピールを」
駐日サンマリノ大使 マンリオ・カデロ氏が講演

コラム 「コロナ禍のオランダ」……白神三津恵

10周年記念講演会

松田正己 岡山EU協会会長あいさつ



ご紹介いただきました岡山EU協会会長の松田でございます。本日は、設立10周年を記念した講演会ということで、当会副会長で、駐日欧州連合代表部の参事官、広報部長をお務めでいらっしゃるフリオ・アリアス様をはじめ、大勢の皆様にご出席いただいております。

ご案内の通り、岡山EU協会は2009年12月に設立されました。岡山県民とEU（欧州連合）の相互理解を深め、交流の促進につなげていこうとの思いから、日本では全国13番目の協会として発足いたしました。以来10年、EU講座などを通じて、会員の皆様にさまざまな情報発信を行ってまいりました。会の中心になっておりますのが、私が代表幹事を務めております岡山経済同友会であります。そのほか、岡山県や岡山市、各種団体にご協力いただきながら取り組みを進めております。

EUといえば、この（1月）31日に英国の離脱が迫っております。28カ国が27カ国になるということですが、

当初心配されたような経済的な混乱は小さいようであり、また、日本とEUの間では、昨年2月、日欧EPA（経済連携協定）の発効により自由貿易圏が拡大し、これからより一層、貿易などが促進されることと思います。インターネットの普及により、日本の地方都市も容易に、世界の国々、地域とつながることができるようになりました。時流に乗り、岡山EU協会とEU諸国、各都市、産業界とがより深く、緊密に結びつくことができればというのが、10周年を迎えて進むべき新たなステップではないかと考えております。

さて、本日の記念講演にお招きしておりますのは、日本文学の研究者でいらっしゃる、翻訳家で詩人でもありますピーター・マクミラン先生です。会場入り口にも百人一首の英訳版などが置かれておりましたが、これらを通して日本の古典を世界に発信していただいております。演題は「日本文化の素晴らしさについて」であります。大変、興味深いお話がうかがえるものと期待しております。皆様じっくりとお聞きいただければと思います。

終わりにになりましたが、当EU協会の活動にご支援、ご協力いただいております会員をはじめ関係の皆様にご感謝を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。本日はご出席、誠にありがとうございます。

フリオ・アリアス 駐日欧州連合代表部参事官・広報部長
岡山EU協会副会長ごあいさつ

皆様、こんにちは。10周年おめでとうございます。これよりは、英語でお話をさせていただきます。

本日は、こちらにうかがい、皆様とお会いできましたこと大変うれしく思います。そして

また、岡山EU協会様の設立10周年に心より感謝するとともに、あらためてお祝い申し上げます。

私たち欧州連合が、日本各地にEUの考え方や政策、課題をお伝えする上で、各地の協会の情熱や関心にご尽力いただいております。そしてまた、EU代表部は東京のほかにオフィスを持たないため、メッセージを伝えるには、皆様のお力が欠かせません。EUを理解していただく上で、歴史、文化の多様性、食や価値観を伝える必要がありますが、さまざまな機関を持つ複雑な構造で、5億人を抱える市場であるEUについて、常に情報を発信し続けることは困難が伴います。だからこそ、岡山におきましても岡山EU協会様が、メッセージを広げるための取り組みを活発にしてい

ていることを光栄に思っております。

さきほど、松田会長がお話しされたように、昨年2月1日から、日本とEUの経済連携協定（EPA）、戦略的パートナーシップ協定という二つの合意について効力が発揮され、日本とEUが新しいチャプターを迎えることになりました。EPAを結ぶことで、関税が低くなり、市場へのアクセスが広がるなど消費者、企業へさまざまなメリットをもたらすことができます。実際に、岡山にいらっしゃる市民、企業の方たちにもメリットを感じていただけるはずで、ワインをはじめとしたアルコール類、衣服、革製品が安くなるほか、岡山の産品を輸出する機会も増えるはずで、

岡山の素晴らしいお酒をヨーロッパへいままでもよりも安価に輸出することが可能になります。現状でも、日本とEUの関係は良好ですが、これからの10年でさらに促進されるはずで、そして、私たちの関係が進化することで、皆様のお仕事がさらにお忙しくなることを期待しております。

最後になりますが、あらためまして岡山EU協会10周年、おめでとうございます。

通訳 小笠原ヒロ子氏（岡山EU協会会員、ニッティ・グリッティ取締役会長）

岡山EU協会（松田正己会長）は1月27日、岡山市北区のホテルグランヴィア岡山で10周年を祝う記念講演会と懇親会を開いた。百人一首など和歌に詳しい詩人で翻訳家のピーター・マクミラン氏が「日本文化の素晴らしさについて」の演題で講演、会員ら約70人が欧州から見た日本文化の奥深さに触れた。

ピーター・マクミラン氏はアイルランド出身で日本在住歴30年以上。アイルランドと英国の国籍を持ち、プリンストン、コロンビア、オクスフォードの各大学で研究員を務め、東京大学、東京女子大学の講師に就いている。2008年、英訳「百人一首」でドナルド・キーン日本文化センター日本文学翻訳特別賞を受賞したほか、英訳「伊勢物語」を出版するなど、日本の古典文化を世界へ発信する取り組みが高く評価されている。

記念講演会では、松田会長、岡山EU協会副会長を務めるフリオ・アリアス駐日欧州連合代表部広報部長があいさつ。講演では、マクミラン氏が「今日は、外から見た日本文化について語りたい」として、自ら手掛けた百人一首の英訳について詳しく解説し、日本文化には世界でも共感を得られる普遍性がある一方、は



かなさなど独特の感性による魅力もあることなどを語り掛けた。「私の中にはアイルランド人の美学と日本人の心が同居している。日本の文学を英語でどう表現するか、一緒に考えましょう」と呼び掛け、万葉集の大伴家持、柿本人麻呂、百人一首の猿丸大夫、曾禰好忠、崇徳院、伊勢物語の在原業平らの秀歌を示して、魅力を紹介。同音異義語を巧みに使い、音やリズムを追って効果を高めるといった手法を通じて英語訳への工夫を説明した。また、日本人の自然観や恋愛観の美しさに感嘆した経験も語り、日本古来の奥ゆかしい感



性、感情と論理の共存を称えた。

講演後、会員からは「英語圏の人は、日本文学の何割ほどを理解できると考えるか」「人生を楽しむという点を、EUの人々はどうか捉えていると感じるか」な

どの質問があり、活発に意見が交わされた。続く懇親会では、大森雅夫・岡山市長の祝辞の後、古市大蔵理事の発声で乾杯し、講師を囲み和やかなひと時をすごした。

岡山 EU 協会 10年の歩み

※施設名、肩書は当時

2009年

- 12月11日 設立総会 ホテルグランヴィア岡山
・記念講演 田中俊郎慶応義塾大学法学部教授「なぜ今、EUなのか」



2010年

- 4月10日 第1回 EU 講座 ホテルグランヴィア岡山
・講師 次田泰裕愛媛大客員教授
「EUにおけるレアメタルのリサイクル」
- 4月17、18日 オランダフェスティバル2010表町商店街ほか
(共催)
- 5月8日 第2回 EU 講座 岡山国際交流センター
・講師 古市大蔵理事「北欧経済事情について」
「EUがあなたの学校へやってくる」出張授業
岡山南高校・西大寺高校・岡山高校
- 5月11、12日 理事会、通常総会 岡山全日空ホテル
・記念講演 ジャン・フランソワ・ビーエ駐日欧州連合代表部通商担当官
「将来的な日・EU FTAの可能性について」
- 9月11日 第3回 EU 講座 ホテル日航倉敷 大原美術館
・講師 大原謙一郎・大原美術館理事長「文化の力と大原美術館の経営理念」ほか
- 10月19日 岡山 EU 協会・岡山経済同友会合同講演会 ホテルオークラ岡山
・講師 ギュンター・グロッシェ・元ユーログループ議長特別顧問
「ユーロと欧州統合—その過去、現在、未来」
- 12月18日 第4回 EU 講座 ホテルオークラ岡山
・講師 征木和敬氏 (オペラ歌手) 「トークコンサート」



2011年

- 4月24日 第5回 EU 講座 ホテルグランヴィア岡山
・講師 榎野博史岡山大学病院院長「インスリンのふるさとデンマーク」
- 6月18、19日 EU フィルムデーズ2011in 岡山・高松 岡山会場：岡山県立美術館
- 6月20日 理事会・通常総会 ホテルグランヴィア岡山
・記念講演
リチャード・ケルナー駐日欧州連合代表部広報部学術協力担当
「ヨーロッパから見た日本、そして岡山」
- 8月20日 第6回 EU 講座 倉敷国際ホテル
・講師 武田和義岡山大学名誉教授「大麦遺伝資源の可能性」
- 12月17日 第7回 EU 講座 オリエンタ美術館
・講師 上岡美保子・前ジェトロ・ストックホルム事務所長
「スウェーデンはどんな国？強い経済と強い社会保障の両立」



2012年

- 4月14日 第8回 EU 講座 岡山県立図書館
・講師 大原秀之・吉備国際大学文化財学部教授
「ヨーロッパ近現代美術を見る眼 - 保存修復の視点から」
- 6月1日 EU 代表部 PR バスが岡山商科大学を訪問
- 6月15日 理事会・通常総会 岡山国際ホテル
・記念講演 福田耕治早稲田大学政治経済学術院教授
「EU ガバナンスと欧州債務危機の行方 - ユーロと EU の今後について」
- 9月20日 第9回 EU 講座 ルネスホール
・講師 鈴木眞澄氏(日本フラメンコ協会理事) 「フラメンコ〜五感を駆使して喜怒哀楽を表現する」
- 11月29日 岡山 EU 協会・岡山経済同友会合同講演会 岡山プラザホテル
・講師 ギュンター・グロッシェ・元ユーログループ議長特別顧問
「ユーロランドの債務危機からの脱出」
- 12月20日 第10回 EU 講座 ホテルグランヴィア岡山
・講師 田口雅弘・岡山大学大学院社会文化科学研究科教授
「欧州の新しい戦略拠点 - ポーランドの東から北への道」



2013年

- 4月4日 第11回 EU 講座 岡山国際ホテル
・講師 奥山秀敏氏(岡山 EU 協会会員、研美社代表取締役社長)
「DARTS とは」
- 6月17日 理事会・通常総会 岡山プラザホテル
・記念講演 ファブリツィオ・グラッセリ氏(イタリア人建築家)
「イタリア人と日本人、どっちがバカ？」
- 6月29、30日 EU フィルムデーズ2013in 岡山・高松 岡山会場：岡山県立美術館
- 11月13日 第12回 EU 講座 ホテルグランヴィア岡山
・講師 齊藤栄一氏(チェリスト) 「チェロとのひととき」



2014年

- 2月25日 第13回 EU 講座 ホテルグランヴィア岡山
・講師 マルタ・モンカーダ氏(スペイン現代アート作家) 「私とスペインと日本」
- 5月12、13日 「EU があなたの学校へやってくる」主張授業 岡山南高校・井原高校・岡山東商業高校
- 6月16日 理事会・総会 岡山全日空ホテル
・記念講演 福島清彦立教大学経済学部特任教授
「EU の現在と未来 - さらなる統合で危機を乗り越える - 」
- 6月24日 EU フィルムデーズ2014in 岡山 岡山天神山文化プラザ

2015年

- 1月14日 設立5周年記念講演会 ホテルグランヴィア岡山
・記念講演 リシャール・コラス・シャネル日本法人社長
「フランス人から見た日本文化のあれこれ」
- 3月13日 第14回 EU 講座 ルネスホール
・講師 石原亜弓・岡山県立美術館非常勤学芸員 「ムーミン」
- 6月5日 理事会・通常総会 岡山国際ホテル
・記念講演 有吉章・一橋大学国際・公共政策大学院教授 「ユーロの行方」
- 9月8日 第15回 EU 講座 倉敷アイビースクエア
・講師 山口敏郎氏(造形作家) 「私と自然 日本とスペインの往還」



2016年

- 3月28日 第16回 EU 講座 ホテルグランヴィア岡山
・講師 セーラ・ウテン駐日欧州連合代表部広報部長 「私が観た EU」
- 5月20日 第17回 EU 講座 岡山国際ホテル
・講師 小串聡彦慶応義塾大学 EUSI 研究員 「欧州の若者の政治参画」
- 6月9日 理事会・総会 ANA クラウンプラザ岡山
・記念講演 ギョルギ・ユハース駐日ハンガリー大使館参事官
「ハンガリー ～新しい関係の可能性」
- 10月10日 岡山 EU 協会・就実大学共催フォーラム 就実大学
・基調講演 デイヴィッド・ウォレン前駐日英国大使 「英国の EU 離脱と世界経済のゆくえ」



2017年

- 5月26日 第18回 EU 講座 吉井旅館
・講師 宅和博彦氏 (岡山 EU 協会会員、玉島信用金庫常勤理事)
「労働者の理想郷クレスピダッダと倉敷」
- 6月15日 理事会・総会 岡山国際ホテル
・記念講演 ミカエル・カルマノ南山大学前学長 「日本文化との出会い 一人のドイツ人の経験」
- 10月20日 第19回 EU 講座 岡山プラザホテル
・講師 松浦美佐子岡山商科大学准教授 「16世紀から21世紀へ『ヴェニス商人』が伝えるもの」



2018年

- 1月16日 第20回 EU 講座 ヴィア・パーチェ
・講師 中澤大輔氏 (アーティスト)
「10年後の街を実験する ～ヨーロッパの事例から考察する、都市とアートの可能性」
- 5月21日 第21回 EU 講座 ヴィア・パーチェ
・講師 中谷文美岡山大学大学院社会文化科学研究科教授
「仕事は人生の中心じゃない？ オランダ流の働き方・暮らし方」
- 6月6日 理事会・通常総会 岡山プラザホテル
・記念講演 グンター・スペース・ネスレ日本専務執行役員 「スイスから見た EU」
- 6月13日 岡山 EU 協会・岡山経済同友会共催講演会 ANA クラウンプラザホテル岡山
・講師 ジャンカルロ・ダッラーラ氏 (アルベルゴ・ディフーズ協会会長)
「アルベルゴ・ディフーズ ～新しいかたちの分散型ホテル」
- 11月2日 第22回 EU 講座 ANA クラウンプラザホテル岡山
・講師 近藤道雄国立産業技術総合研究所上席イノベーションコーディネーター
「サステナブルな再生可能エネルギー利用 ～ EU の実例を中心に～」
- 11月3日 就実グローバル・フォーラム2018就実大学 (共催)
・基調講演 ビル・エモット氏 (英誌エコノミスト元編集長)
「VUCA 世界 ～ EU・BREXIT の視点～」

2019年

- 2月25日 第23回 EU 講座 ANA クラウンプラザホテル岡山
・講師 吉田全作氏 (酪農家) 「チーズの魅力」
- 6月10日 理事会・総会 矢掛屋 あかつきの蔵
- 9月10日 第24回 EU 講座 ANA クラウンプラザホテル岡山
・講師 中島浩一郎銘建工業代表取締役社長
「欧州全体の林業の現況と未来 CLT の活用状況と未来に向けての展望」
- 11月29日 第25回 EU 講座 ANA クラウンプラザホテル岡山
・講師 マンリオ・カデロ駐日サンマリノ大使 「ヨーロッパと日本の産業技術交流について」



2020年

- 1月27日 | 10周年記念講演会 ホテルグランヴィア岡山
・記念講演 ピーター・マクミラン氏（詩人、翻訳家）「日本文化の素晴らしさについて」
- 6月10日 | 理事会 ホテルグランヴィア岡山

講演要旨

「日本文化の素晴らしさについて」

詩人・翻訳家 ピーター・マクミラン 氏

皆さん、はじめまして。ピーター・マクミランと申します。

私は岡山県といろいろな縁があります。以前、助手として古典の翻訳のお手伝いをしていただいた方が現在は岡山にいらっしゃいますし、今の助手は祖父母が岡山出身ということで、岡山県の力で翻訳をさせていただいています。

本日は、岡山EU協会10周年の講演会ということで、アイルランド出身の私はEUが大変すばらしい組織と考えており、ブレグジット（イギリスの欧州連合離脱）は非常に残念です。今後、岡山EU協会が末永くご活躍されることを期待しております。



さて、ここからは日本文化の素晴らしさについて話させていただきます。私は学者ではなく詩人であり、翻訳者ですので、学者とは異なる視点で、外から見た日本文学について紹介いたします。私は今年で還暦、日本での生活は30年になりますが、暮らし初めて15年ほどの時期に日本にとどまるか悩んだことがありました。当時、恩師である加藤アイリーンさんに相談しました。アイルランド生まれで日本の外交官である加藤吉彌さんと結婚された方で、12年前に他界されました。宮内庁の御用掛も務められ、日本文学者であるドナルド・キーン先生のお弟子さんでもいらっしゃいました。

アイリーンさんからは、悩んでいるのであれば百人一首を翻訳してみれば答えが出るのではと勧められました。私もすでに詩集を出していましたが、古典はまったく知らない世界で、高校生の教科書を使って何年もかけて翻訳しました。その翻訳をアイリーンさんがキーン先生に見せ、評価して下さり、12年前に、ロンビア大学出版会から百人一首を出していただいた。これが二つの翻訳賞（2008年度ドナルド・キーン日本文化センター日本文学翻訳特別賞、日本翻訳家協会第



44回日本翻訳文化特別賞）を受賞しました。翻訳者として免許をもらった気分で、これをきっかけに、日本の歌を英訳し、世界に発信することがささやかですが日本への社会貢献になるのではと思いました。5年ほど前からは、百人一首の英語カルタをつくりたいと、新しい翻訳を試みました。五行詩にあわせたもので、読み札と取り札で遊べるように作り直しています。



では、外から見た日本文化のポイントについて、和歌を通じて紹介したいと思います。まずは百人一首。過半数は普遍性のある歌で、どこの国の人であってもとても共感しやすく、英語やドイツ語で読まれているものでも同じようなつくりの歌がある。例えば、私が一番好きな46番、曾禰好忠の「由良の門を渡る舟人かちをたえ ゆくへも知らぬ恋の道かな」。船人がかちを失い、船の行く末が分からない、それが恋の道のような。という歌で、まさに恋をした時は相手次第であり、自分ではコントロールできない。船と同じように行く末が分からなくなるというものです。日本の和歌の特徴が非常に分かりやすいもので、心と自然の風景を重ねることができています。論理的につくられたイメージの世界であり、どこの国の人にとっても説得力があります。

もう一つ紹介いたしましょう。77番、崇徳院の「瀬をはやみ岩にせかるる滝川のわれても末に逢はむとぞ

思ふ」です。まったく同じような例で、川の流りに男女の関係を例えた歌で、恋人は別れても本当の恋があればまた一緒になるでしょうというものです。見事に自分の心を自然のイメージに託していることが成功しています。非常に論理的に詠まれ、どこの国の人でも分かりやすく、すぐに理解できる素晴らしい歌です。



次に日本ならではの感性の歌を紹介していきます。紀友則の33番の歌です。「ひさかたの光のどけき春の日に 静心なく花の散るらむ」。恩師のアイリーンさんが好きだった歌です。次に66番「もろともにあはれと思へ山桜 花より外に知る人もなし」。桜に自分の心を託しています。なぜ桜が人の心と共感できるのか。それは、伊勢物語の82段から読み取れます。惟喬の親王が在原業平と花見に出かけ、桜の木の下で杯を交わしながら歌を詠むというもので、「世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし」です。日本人は桜が咲くとわくわくして興奮し、花見ができるという気持ちになる。今でもそうですが、伊勢物語の時代から、落ち着いた気持ちになるということです。

それに応えたのが「散ればこそいとゞ桜はめでたけれうき世になにか久しかるべき」です。桜ははかないものであるからこそ美しいのです。この浮世の中に何が長く続くのでしょうか。ここに西洋の美学と日本の美学の大きな違いがある。西洋の美は永遠のものであると考えます。例えばシェークスピアの「ソネット」、ミケランジェロの彫刻、ダ・ヴィンチの「モナリザ」、モーツァルトの音楽、いずれも共通しているのが、人間は死ぬ、はかないものかもしれないが、美は永遠の命を持っているというものです。つまり、神に近いもので、完璧さを持っている。人間は不完全であるが、芸術と美術は完全なものと考えています。これは日本人の感性とは真反対の考え方で、歌には日本ならではの「はかなさの美」が詠まれています。



私は大学で専攻していた哲学で美学を学びました。普遍的なものと考えていましたが、日本に来て覆されました。ものの見方が二つ生まれました。今は自分の中にアイルランド人としての美学、長年住んでいる日本人の心があり、2人のピーターがいます。日本に来た理由は冒険がしたいという思いからでした。地図で日本とアイルランドの距離を見て、とても遠くへ行けると思っていました。でも、今、冒険しています。日本の古典文学を翻訳すればするほど新しい出会い、新しい冒険があります。昨年、万葉集をはじめて翻訳し、その素晴らしい世界観を味わいました。平安朝の文学は洗練され、素晴らしいが、万葉集はそれに加えて、とてもシャーマン的な、古の日本人の生活ぶり、感性の豊かさに出会えます。その出会いに今でも感謝しています。



次の具体的な例ですが、皆さんはEU協会の会員でいらっしゃるので、コミュニケーションについて興味をお持ちだと思います。どのようにすればEUの文化を理解できるのか、日本人を理解してもらえるのか。私は日本文学をどのように発信していくかを考えています。海外の方に、日本文学を愛してもらい、日本に来たいと思ってもらうためには、日本文化をどのように英語で表現すればいいのか考えてみましょう。

百人一首の5番です。「奥山に紅葉踏みわけ鳴く鹿の声きく時ぞ秋は悲しき」。紅葉を踏み分けているのは、鹿でしょうか、歌人でしょうか。実はですね、これは二つの訳をつくりました。主語が書かれていないからです。万葉集には主語がありますが、和歌にはほとんど主語がなく、文法が成り立たないため、英語ではありえない表現です。先生に怒られてしまいます。最初に翻訳した10年ほど前、歌人を主語にしました。ですが、よく考えて作り直した時、歌人はどちらも主張することなく書いていると思いました。英語の感覚では私と自然があり、それは対立していますが、日本の古典では対立していない。距離感がありません。その世界観を紹介するため、2回目の翻訳ではあえて英語の文法を破壊して主語を入れませんでした。どちらにもとらえられる忠実な訳にしました。これは日本の古典の世界観を紹介するため、高校の先生には怒られますが、詩の世界では破壊していい。それが詩のルールであり、私の挑戦でした。

次の例を紹介しましょう。視覚翻訳です。「あしびきの山鳥の尾のしだり尾の 長々し夜をひとりかも寝

む]。「の」と「お」の音が繰り返されています。この歌の中では、1人で過ごす長い夜について音を繰り返すことでさらに長さ、寂しさを強調しています。大変すばらしいレトリックの一つですが、これを英語にする際、同じように音を繰り返すようにしました。元の歌の魂を伝えるためです。

この2年間、「扇の草紙」の翻訳に取り組んできました。江戸時代の文化人は絵の遊び、言葉の遊びが好きです。当時の人たちは絵を見て、歌がすぐに分かりました。※写真・絵巻「阿不幾集」に描かれた「かささぎ」



何が描かれていますか。鳥の「サギ」です。傘と橋が描かれていますが、実は傘とサギで「カササギ」です。百人一首の6番。「かささぎの渡せる橋におく霜の白きを見れば夜ぞ更けにける」。この言葉遊びを絵にしていますが、同音異義語からきています。日本語には同音異義語が多くありますが、英語にはすごく少ない。日本文化で同音異義語というのは非常に大事なものです。それをうまく利用しているのが和歌です。万葉集、実はすごくレトリックが複雑で素晴らしいものが多くあります。平安朝でいうところの掛詞、文学的ダジャレが多く使われ、工夫がされています。同音異義語を使うことで日本文化はすごく発達しました。和歌の文化、能に歌舞伎、落語、漫才がその流れにトレスされています。

次は、伊勢物語の9段、東下りです。在原業平が友

人とともに都を離れ八橋に行きつくとカキツバタがいっぱい咲いている。旅をテーマに「か・き・つ・ば・た」の折句(五つを頭文字に歌)を作るということで、「唐衣着つつなれにしつましあればはるばる来ぬる旅をしぞ思ふ」が詠まれます。※写真

英訳する際、折句になるようにカキツバタの英語「I・R・I・S」を頭文字にして「In these familiar lovely robes I'm Reminded of my beloved wife I have left : stretching far behind— Sadness, the hem of journeys」と翻訳しました。レトリックも大切にしながら平安朝の歌人の思いを発信しています。



続いて、英語で味わう万葉集を紹介します。

新しい元号の「令和」は万葉集が出典です。大伴旅人の序文から令和はとられています。由来となった「梅花(ばいか)の宴」で大伴旅人が詠んだ歌が「わが園に梅の花散るひさかたの天より雪の流れ来るかも」です。「見立てる」という日本文学独自の文化を取り入れた歌で、梅の花びらと雪を表現しています。百人一首では白の見立ての歌が多くあります。雪と花びら、初霜と白菊、吉野の雪と白い月といった白いもの同士を混同させるイメージが日本人のとても好きな表現です。

次も私が大好きな歌です。「弥彦神の麓に今日らもか鹿の伏すらむ裘着て角つきながら」。当時の日本人の自然観、動物を敬う心が伝わる歌です。万葉集は1300年前のものですが、これからの1000年、地球が残っていくために教わるものがたくさんある歌集だと思います。1300年大事にされ、伝承されてきました。これからの1000年、世界の文学作品として読まれていくのか。優れた英訳が少なく、その素晴らしさが世界に広まっていません。

世界に誇れる文学作品として紹介していきたいと思っています。

万葉集の最後の歌は「新しき年の初めの初春の今日降る雪のいやしけ吉事」です。今日は岡山EU協会の10年のお祝いです。それで選びました。新しい年の初めに雪が積もっていく、すばらしいことが雪のように重なり積もっていくという思いで紹介しました。岡山EU協会も長く、続いていかれることを祈念しております。

伊勢物語 九段

東下り 1

ある男が、東へと下っていた。三河の八橋あたりで休憩をとり、かわいいを食べていたところ、沢に杜若がきれいに咲いていた。それを見た人が「杜若の五文字を句の頭に置いて、旅中の思いを詠じてごらんさい」と言ったので、男は歌を詠んだ。この歌に人々は涙を落し、かわいいはふやけてしまった。

から衣
きつつなれにし
つましあれば
はるばるきぬる
たびをしぞ思ふ

In these familiar lovely robes I'm
Reminded of my beloved wife
I have left: stretching far behind—
Sadness, the hem of journeys.

KARA-goromo
KI tsutsu nareni shi
TSUma shi are ba
HARU-baru kinuru
TABI o shi zo omou

Topics

岡山EU協会 理事会開催

岡山EU協会の2020年度理事会が6月10日、岡山市北区のホテルグランヴィア岡山3階の「パールの間」で開かれ、前年度の事業報告並びに今年度の事業計画や収支予算などを審議した。

2019年度の事業報告、収支決算などについて久山事務局長が説明。1年間の活動状況では2回の「EU講座」開催や「設立10周年を祝う記念講演会」を開催したことを報告した。一方、3月に開催を予定していた「EU講座」が新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期を余儀なくされたことも報告された。

2020年度の事業計画、収支予算については、新型コロナウイルス感染の状況により、活動自体不透明な点も多いが、できるだけ例年通りの計画を立てた。EU講座は年3回を計画、また、設立10周年記念誌の発行が満場一致で承認された。

理事会には理事・監事など15名が出席した。松田正己会長が「アフターコロナの社会を考える上でEUの今後の動きは参考となる。EU講座等を通じ有意義な活動を進めていきたい」とあいさつ。理事からも、「EUの社会や文化を勉強することは、SDGsの浸透を



る上で参考となる」「EUの伝統工芸の伝承方法などを研究し参考とすべきである」などの意見が出た。

なお、新型コロナウイルス感染防止のため、本年度は理事会のみを開催し、総会は書面決議に、そして、恒例の講演会や懇親会は中止とした。

EU協会は、一般社団法人岡山経済同友会が中心になって呼び掛け、2009年12月に設立された団体である。役員の変動では、当会設立時より会長・名誉会長として会運営に携わってこられた越宗孝昌氏をご本人の意向で退任する案も承認されている。



〔第1号議案〕 **2019年度 事業報告**

1、欧州の経済・文化事情について、フォーラムや講演会を開催

2019年6月10日（月）には、古民家や空き家を新しい形の分散型ホテルとする「アルベルゴ・ディフーズ」に国内で初めて認定された岡山県矢掛町で理事会・総会を開き、提唱者のジャンカルロ・ダッラーラ氏の講演やシンポジウムを聞いた。矢掛の街並みも散策した。

9月10日（火）、第24回 EU 講座として、岡山市北区の ANA クラウンプラザホテル岡山で、真庭市・銘建工業㈱の中島浩一郎代表取締役社長に「欧州全体の林業の現況と未来 CLT の活用状況と未来に向けての展望」と題して話していただき、約70人が欧州の林業の優秀性と課題などについて聞き、熱心に意見交換した。

11月29日（金）には、第25回 EU 講座として、駐日サンマリノ大使のマリオ・カデロ氏を招き、岡山市北区の ANA クラウンプラザホテル岡山で、欧州から見た日本文化や、EU 各国の関係などについて学んだ。

2020年1月27日（月）、設立10周年を祝う記念講演会を岡山市北区のホテルグランヴィア岡山で開催し、詩人で翻訳家のピーター・マクミラン氏に「日本文化の素晴らしさについて」の演題で講演していただいた。会員ら約70人が、百人一首の英

訳などを通じてマクミラン氏が感じ取った日本文化の普遍性や、日本語と英語のリズム感の対比、日本人の自然観などに触れ、EU 圏域から見た日本像などについて質疑応答した。

3月16日（月）には、オランダの暮らしぶりなどをテーマにした EU 講座を第26回として準備していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、延期した。

2、「EU Letter」の継続発行

年1回発行しており、10月に第11巻を出した。6月10日開催の理事会・総会での決定事項、会合の様子などを紹介した。松田久会長の退任、松田正己新会長の就任などを写真入りで伝えた。

3、岡山 EU 協会のホームページの充実

岡山 EU 協会内外への情報発信強化を目指し、会長あいさつ、協会会則などを常時掲載し、理事会・総会、EU 講座の開催日のお知らせなどをイベントカレンダーとして掲載している。他の EU 協会ともリンクを張り、それぞれの活動状況が分かるようにしている。

4、会員の増強を図る

2019年4月は法人63人、個人56人でスタートした。途中、複数の入退会があり、2020年3月末は法人63人、個人52人となった。今後も入会の声掛けに努め、会員の増強を図る。

〔第2号議案〕 **2019年度 収支計算書**

(2019. 4. 1 ~ 2020. 3. 31)

収支決算

| | |
|------|--------------------------|
| 収入総額 | ¥3,808,133 |
| 支出総額 | ¥2,330,468 |
| 差引残高 | ¥1,477,665 (2020年度に繰り越し) |

収入の部

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差引額 | 摘要 |
|--------|-----------|-----------|----------|--|
| 年会費収入 | 1,620,000 | 1,540,000 | -80,000 | ・法人会費 @20,000×64 ・個人会費 @5,000×52 |
| 参加会費 | 1,000,000 | 679,000 | -321,000 | ・総会 @7,000×35=245,000 ・第24回 EU 講座 @7,000×30=210,000 ・第25回 EU 講座 @8,000×21=168,000 ・10周年(同友会員) @7,000×8=56,000 |
| 事業収入 | - | - | - | |
| 雑収入 | 20 | 18 | -2 | ・普通預金利息 |
| 前年度繰越金 | 1,589,115 | 1,589,115 | - | |
| 合計 | 4,209,135 | 3,808,133 | -401,002 | |

支出の部

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 差引額 | 摘要 |
|------|-----------|-----------|----------|--|
| 総会費 | 700,000 | 462,726 | -237,274 | ・会場・看板等 101,898 ・懇親会 252,324 ・貸切バス・駐車場 98,204 ・その他 10,300 |
| 事業費 | 2,000,000 | 1,669,192 | -330,808 | ・第24回 EU 講座 435,798 ・第25回 EU 講座 381,978 ・10周年 851,416 |
| 広報費 | 250,000 | 112,192 | -137,808 | ・会報印刷 91,080 ・ホームページ 21,112 |
| 事務諸費 | 250,000 | 86,358 | -163,642 | ・通信費 38,946 ・消耗品費 10,930 ・出張旅費 34,560 ・備品 998 ・その他雑費 924 |
| 予備費 | 50,000 | - | -50,000 | |
| 合計 | 3,250,000 | 2,330,468 | -919,532 | |

会計監査報告

2019年度の会計について監査を執行し、収入・支出ともに正確に記帳整理されており、帳簿・証拠書類の保管は完全であることを認める。

2020年5月12日

監事 金谷 征正 

監事 岡崎 彬 

〔第3号議案〕 **2020年度岡山 EU 協会役員**

| | | | | | |
|-----|----------------|---------------|-----|--------------------|------------|
| 会 長 | 岡山経済同友会顧問 | 松田 正己 (再任) | 理 事 | 岡山経済同友会代表幹事 | 宮長 雅人 (再任) |
| 副会長 | 駐日欧州連合代表部広報部長 | フリオ・アリアス (再任) | 理 事 | 岡山経済同友会代表幹事 | 桑田 茂 (新任) |
| 副会長 | 岡山大学学長 | 榎野 博史 (再任) | 理 事 | 岡山経済同友会常任幹事 | 古市 大藏 (再任) |
| 副会長 | 岡山県国際経済交流協会会長 | 宮長 雅人 (再任) | 理 事 | 岡山県中小企業団体中央会会長 | 晝田 眞三 (再任) |
| 副会長 | 岡山県経営者協会会長 | 野崎 泰彦 (再任) | 理 事 | 大学コンソーシアム岡山会長 | 沖 陽子 (新任) |
| 顧 問 | 岡山県知事 | 伊原木隆太 (再任) | 理 事 | 岡山県文化連盟会長 | 若林 昭吾 (再任) |
| 顧 問 | 駐日欧州連合代表部大使 | パトリア・フロア (再任) | 理 事 | 福武教育文化振興財団代表理事・理事長 | 松浦 俊明 (再任) |
| 顧 問 | 岡山ガス会長 | 岡崎 彬 (新任) | 理 事 | 岡山市長 | 大森 雅夫 (再任) |
| 理 事 | 岡山経済同友会顧問 | 松田 久 (再任) | 理 事 | 倉敷市長 | 伊東 香織 (再任) |
| 理 事 | 岡山経済同友会顧問 | 萩原 邦章 (再任) | 理 事 | 山陽新聞社社長 | 松田 正己 (再任) |
| 理 事 | 岡山経済同友会顧問 | 泉 史博 (再任) | 理 事 | RSK 山陽放送社長 | 桑田 茂 (再任) |
| 理 事 | 岡山経済同友会顧問 | 中島 基善 (再任) | 理 事 | 岡山放送社長 | 中静敬一郎 (再任) |
| 理 事 | 岡山県経済団体連絡協議会会長 | 中島 博 (再任) | 理 事 | テレビせとうち社長 | 土井 雅人 (再任) |
| | | | 監 事 | 岡山県商工会議所連合会専務理事 | 高橋 邦彰 (新任) |
| | | | 監 事 | 岡山県商工会連合会会長 | 金谷 征正 (再任) |

〔第4号議案〕 **2020年度事業計画 (案)**

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------|
| 1. 欧州の経済・文化を深く知るため「EU 講座」を複数回、開催する | 3. 岡山 EU 協会のホームページの充実を図る |
| 2. 会報「EU Letter」を継続発行し、また10周年記念誌を発行する | 4. 会員の増強を目指す |
| | 5. EU との友好促進事業を実施・共催・後援する |

〔第5号議案〕 **2020年度 収支予算書 (案)**

(2020. 4. 1 ~ 2021. 3. 31)

収入の部

| 科 目 | 2019年度実績 | 2020年度予算 | 差引額 | 摘 要 |
|-------------|-----------|-----------|----------|--|
| 年 会 費 収 入 | 1,540,000 | 1,605,000 | 65,000 | ・法人会費 (2 法人増強) @20,000円×66 ・個人会員 (5 個人増強) @ 5,000円×57 |
| 参 加 会 費 | 679,000 | 750,000 | 71,000 | ・総会 ・EU 講座 (3 回程度開催予定) |
| 事 業 収 入 | - | - | - | ・事業の開催予定なし |
| 雑 収 入 | 18 | 20 | 2 | ・普通預金利息 |
| 前 年 度 繰 越 金 | 1,589,115 | 1,477,665 | -111,450 | |
| 合 計 | 3,808,133 | 3,832,685 | 24,552 | |

支出の部

| 科 目 | 2019年度実績 | 2020年度予算 | 差引額 | 摘 要 |
|-----------|-----------|-----------|----------|---|
| 総 会 費 | 462,726 | 1,000,000 | 537,274 | |
| EU 講座等運営費 | 1,669,192 | 1,000,000 | -669,192 | ・EU 講座 (@300,000円×3 回) 等 |
| 広 報 費 | 112,192 | 500,000 | 387,808 | ・会報発行 100,000円 ・10周年記念誌発行 300,000円 ・ホームページ維持更新費用 100,000円 |
| 事 務 諸 費 | 86,358 | 100,000 | 13,642 | ・通信費 ・消耗品費 ・出張旅費 など |
| 予 備 費 | - | 50,000 | 50,000 | |
| 次 年 度 繰 越 | 1,477,665 | 1,182,685 | -294,980 | |
| 合 計 | 3,808,133 | 3,832,685 | 24,552 | |

TOPICS 第25回 EU 講座

日本文化 もっとアピールを 駐日サンマリノ大使 マンリオ・カデロ氏が講演

岡山EU協会（松田正己会長）の第25回EU講座は11月29日（金）、岡山市北区駅元町のANAクラウンプラザホテル岡山で開かれ、駐日サンマリノ大使のマンリオ・カデロ氏が講演、会員ら約30人が聞いた。

この日は藤木茂彦会員の司会で進行し、松田会長が「大使、ようこそ岡山へ。サンマリノは世界で5番目に小さいが、すてきな国と聞いています」と開会あいさつし、サンマリノの四季を紹介したビデオを視聴した後、カデロ氏の講演に移った。

カデロ氏は、国土をイタリアに囲まれたサンマリノについて「人口は3万6000人ほどと少ないが、軍隊がなく、貴族もおらず、摩擦がなく国民はおとなしい。長く独立を保っている。税金も安い」と紹介。一方で、質が高くアフターサービスも優れている日本製品に人気があり、サンマリノ国民から日本が尊敬されると解説した。

少年時代に源氏物語を読むなど、早くから日本文化に親しんだカデロ氏は、日本の縄文時代について「本当のエコロジー。自然を無駄にせず、平和だった。素晴らしい文明だ」としながら、「日本人がその素晴らしさに気づいていない。伊東マンショから天正遣欧少年使節についても、教科書の扱いが軽い」と懸念。日本のODA協力についても「世界から感謝されているのに、よく知らない日本人が多いのは残念」として「日本人は勤勉で賢い。謙虚で質素でもある。アジア人は日本にあこがれている。その哲学は神道にあり、もっとオープンにしてほしい。おもてなしの文化を紹介し、宣伝していくべきだ」と穏やかな口調で促した。

神道を知ると、日本文化は理解しやすいとも述べ、サンマリノに神社を建立して話題を集めているエピソードを語り、会員の関心を引いた。



第25回 EU 講座の会場

講演後、会場からは「日本への留学について、われわれは発信が下手なのは」「英国がEUを離脱したら、どうなる」「サンマリノは移民を受け入れているのか」などの質問が次々に寄せられた。



講演するマンリオ・カデロ氏

カデロ氏は「日本は環境も治安も良く、学びに最適。ただ、観光も含めビザはもう少し緩めてほしい」「サンマリノは小さな国でまとまりが良く、移民受け入れは否定している」と述べ、EUについては「物価水準などさまざまな問題を抱えており、国により事情がいろいろ。英国が離脱したら、さらに離脱へ向かう国が出るかもしれない。大きな分かれ目だ」との認識を示した。

講演を聞いた古市大藏理事は「貴重なお話を伺った。穏やかな時間だった。EUも殺伐とせず、カデロ大使の講演のような雰囲気長く保ってほしい」と閉会の言葉を述べた。

カデロ氏は1975年に日本へ移住し、東京を拠点にジャーナリストとして活動した。1989年に駐日領事となり、2002年から大使。現職の駐日各国大使の中で最も駐在期間が長く、2011年から駐日外交団長を務めている。

カデロ氏は講演翌日に岡山市内で開催された「岡山国際オープンイノベーションシンポジウム」のパネリストとして来岡した。



松田正己会長



古市大藏理事



藤木茂彦氏

コラム

コロナ禍のオランダ

白神 三津恵

EUSTIM 代表。1998年からオランダに移住。理学博士の夫とともに EUSTIM を立ち上げて、日欧間の食品及び医科学関係のコンサルタント業務に携わり、食品分野を担当している。日欧間で食品分野における新商品の紹介や企業間の架け橋、工場や農業視察のアレンジや視察代行等を行っている。



世界中を巻き込むパンデミックで人類を恐怖に陥れている「コロナウイルス」。オランダではどのような対策をし、人々はどのように対応しているのだろうか。オランダから、レポートします。

オランダ政府の決断

オランダにおけるコロナウイルス対策として最初に「外出自粛宣言」を政府が発表したのが3月15日。この日の17時からの会見で、18時から飲食業界が全て閉店を言い渡された。当面は2週間と言う期間限定の宣言であったが、感染は拡大を辿る一方で収束が見えず3月末の会見で「インテリジェントロック」を開始した。近隣諸国が完全ロックダウンを行ったのに対し、オランダが選んだ「インテリジェントロックダウン（条件付き封鎖）」は、当初話題を呼んだ。

この時点での条件の具体的内容を簡単に挙げると、3人以上の集会は屋内外共に禁止。屋外ではソーシャルディスタンス（オランダは1.5m）を守り他人との接点を出来るだけ避ける。飲食店は、テイクアウトのみの営業及び利用可。食料品及び日用品や薬品を販売する店舗や病院は、入場人数制限をかけたの営業のみ可。公共交通機関は、定員数を設けての実施。娯楽施設は全て封鎖。これらの条件を破れば、重い罰金が国から科せられる。以上が健常者のロックダウン。

ただし、高齢者や疾患のある人はリスクグループとみなされ完全なロックダウンを言い渡された。リスクグループに属する人は、買い物はおろか散歩も敷地内以外では出来なくなってしまった状態が、6月いっぱいまで継続された。今回の自粛宣言で営業を一時的に閉鎖したのは、飲食店舗や学校のみではない。スポーツクラブ、理美容院、マッサージやエステサロン、サウナ、歓楽街などの顧客と近距離で接触する業界全てが対象となった。

ソーシャルディスタンスが意味するもの

オランダ政府が推進しているソーシャルディスタンスは、1.5m。同世帯内での義務はないが、家族でも別世帯で暮らす家族とは最低1.5mの距離を保つことが義務化された。オランダをはじめハグの習慣のある国々では、この決まりは過酷である。例えば、日本人同士で久々に会っても相手にお辞儀や会釈などをしないと頂ければわかりやすいと思う。ソーシャルディスタンスは、国が設けた決まりであるので、守れない場合には罰金が発生する。違反の場合大人一人€400、子供は€95、企業での違反が判明した場合は€4000と2週間の企業閉鎖が科せられる。抜き打ちで検査があり、実際に罰金切符を切られた人たちも多い。ある家族は、晴天時に家の前の広場でランチをただただ6人分の罰金を科せられたそうだ。家の前での家族のピクニックにしては、厳しすぎる現実と言える。こよなく自由を愛するオランダ人にとって、私的部分での行動規制はコロナ以前には考えられなかった。自由を奪われたオランダ人の中には耐えられず、コロナ規制アンチのデモを何度か起こしている人達もいる。



街から人が消えたロックダウン中。街中はおろか、路地裏や住宅地にも人影はほとんどなかった。（5月18日 撮影）



街中にある、進行方向を示すステッカー。ステッカーや表示法は各自治体が個性的に演出する



街の中心である商業地は、歩行者同士の接触を防ぐため、街中に進行方向を示すステッカーや矢印がある。

様変わりした生活

インテリジェントロックダウンを受けて、人々の生活様式も急変した。学校は封鎖され子供達は在宅で親もしくはネットを通して授業を受ける。6月から条件付きで再開されるも、直ぐに夏休みとなり9月から新たに再開となるが、クラス内人数制限など適用しての授業となり、職員は対応に追われている。

事務職及び営業職の人達は完全在宅勤務に切り替わった。在宅勤務でのウェブ会議が増え、通勤通学の人達が街から消え去り、一時は街中から車などもほぼ消えてしまった。健康であればインテリジェントロックダウン中も、ソーシャルディスタンスを取っての散歩などは許可なしで出来ていたオランダでは、それでも散布中に人と出会う事はあった。しかし、ソーシャルディスタンスを守るには、人とすれ違う時に距離を取ることは必須だ。

買い物には、入店者数制限をはじめとする客側の新しいマナーが出来た。店内禁止項目の一つに店内での立ち話があり、おしゃべりなオランダ人が無言で買い物をし、知り合いに会うと目配せだけですれ違う。買い物中聞こえる音が店内に流れる音楽のみの事も多く、自分の居場所が掴めない時もあった。店員と客の身体接触を避ける為、政府からクレジットカードかデビットカードの使用推進通知があった。現在は、ほとんどの人が現金を持たなくなった。6月いっぱいまでは、ほぼすべての店頭で職員が消毒済みのカート（カゴ）をお客に配り、入店数の管理をしていた。現在は、店舗の入り口で自主的にカート（カゴ）を取り、入り口に取り付けてある消毒液でカート（カゴ）や自分の手を消毒して入店する。店頭でのカート（カゴ）利用を義務化していない衣料品や雑貨を扱う店舗は、店頭での手指の消毒の義務と店舗内入店者数の制限をかけており、定員オーバーすると店員から退店を促される。



スーパーの入り口で顧客に消毒済みのカートを渡す店員

飲食店舗は、3月15日から5月いっぱいまで完全閉鎖。6月1日から条件付きで再開した。入店時には、利用者代表の連絡先と人数、世帯数の報告義務を設けている。世帯数により、着席時のソーシャルディスタンスが決まるので重要ポイントだ。

感染症患者の減少を受けて

4月にピークを迎えたコロナ感染者が徐々に減り始め、6月末に7月1日からの変更事項が発表された。ソーシャルディスタンスの維持をしながら、飲食店などは完全予約制で入店時の健康チェックを義務化して再開。映画館なども敷地面積に対しての人数割り出しを行って人数制限をしての再開があり、娯楽が少し戻った。屋外スポーツも解禁となり、公共交通機関はマスク着用の義務化で利用可能となった。



ソーシャルディスタンスの可愛いはかり方

2020年8月以降の状況

このような経過をたどり、現在は第2波への懸念をうけて7月31日に行われた政府会見。9月からの学校の在り方や、若者の感染が増加している事への注意、再度ロックダウンを行わないために、各自が自覚を持って行動することを呼びかけた。マスク着用義務の追加は、特に感染の多いアムステルダムやロッテルダムの街中のみにとどまった。

3月末のロックダウンから8月中旬まで一貫してマスク着用義務を提案しなかったオランダ政府。コロナ感染予防の厳しい決まりに反対する人達のデモへの対応にも追われるオランダ政府。コロナ以前の世界に戻れるのは、いつになるのだろうか…。



出入りが完全に分けられている屋外カフェ。感染防止の為、座席間の間隔が通常の1.5倍以上設けられている。

岡山 EU 協会よりお知らせ

岡山 EU 協会は 3 月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動を制限しております。

現在、感染防止対策を取りながら講座を再開できるように、準備を進めております。

再開まで今しばらくお待ちください。

岡山 EU 協会 事務局

〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15
岡山商工会議所ビル5階
(一社)岡山経済同友会内

T E L : 086-222-0051

F A X : 086-222-3920

E-mail : info@okayama-eu.jp

U R L : <http://okayama-eu.jp>